

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	福永家住宅・塩田保存活用事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課		
総合計画体系			根拠法令計画など	文化財保護法		
基本政策(大項目)	3	心豊かで多彩な人材を育む鳴門づくり	事業期間	開始	昭和	51年度
政策(中項目)	2	自己実現都市なると			終期	未定
(小項目)		文化振興(②文化財)				
施策	05	文化財の保護と活用)				
基本事業	1	文化財の保護と活用)				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	重要文化財福永家住宅 公有化された福永家住宅を保存活用して、多くの来訪者に鳴門の塩づくりの歴史を理解してもらうとともに、地域情報の発信地として地元住民が利活用できる空間づくりを目指す。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福永家住宅の保存整備</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>50</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位	福永家住宅の保存整備	30	30	30	30	50	%
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位										
福永家住宅の保存整備	30	30	30	30	50	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①所有者側との公有化についての協議を進めた。 ②台風被害にあった設備の修繕について、所有者に対し補助するとともに、当時市有であった建物等の応急措置を講じ、維持に努めた。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	福永家住宅の公開(テレビ取材含)	3	0	2	4	12	件
	2	福永家住宅の公有化率	30	30	95	95	100	%
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	福永家住宅の保存整備		30	30	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		730	1,184	810	—	—	千円
	財源内訳	国	0	0	0			
		県	0	0	0			
		地方債	0	0	0			
		その他	0	0	0			
		一般財源	730	1,184	810			
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		1,955	3,259	3,910	3,910	3,910	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.3	0.5	0.6	0.6	0.6		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		2,685	4,443	4,720	—	—	千円	

【事務事業名：福永家住宅・塩田保存活用事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	保存活用検討委員会を開催し、保存活用計画を策定する。 地域住民やボランティアを募り小規模な文化財修理と公開事業を実施する。 福永家特有の水辺環境から受ける影響を軽減し、宅地・塩田跡を水害から守るため、排水ポンプの設置について検討し、関係部局と協議を進める。
----------------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	鳴門市の成立と発展の礎である塩生産の歴史を、市民および来訪者に周知することにより、まちの魅力づくりにも繋がっていく事業であり、総合計画を進めるために必要な事業である。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策（文化財の保護と活用）の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	鳴門の塩の歴史を、実物を介して紹介し、市民に認識してもらうことで、鳴門市を愛する心を醸成していく効果がある。
<input checked="" type="checkbox"/> ① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。			
<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業対象は適切である。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
/10	<input type="checkbox"/> ⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価		理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	早期に予算を投入し、環境改善をおこなうことで、より効率の良い保存活用が実施できる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題等					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input style="width: 100%;" type="text"/>			
	どのように改革するのか				